

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 ぎふ清流文化プラザ大道具等整備事業補助金（コロナ分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課文化振興係

電話番号：058-272-1111(内2457)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,858 千円 (前年度予算額：2,266 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,266	1,133	0	0	0	0	0	0	1,133
要求額	5,858	0	0	0	0	0	0	0	5,858
決定額	5,858	5,858	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内各地の伝統芸能の保存・振興のため、それらを発表できる場所を確保する必要があるが、多数の観客を入れ公演を開催できる場所は限られている状況である。

については、ぎふ清流文化プラザに必要な環境整備を行い、伝統芸能公演を開催できる体制を整える。

(2) 事業内容

○ぎふ清流文化プラザ大道具整備事業 5,858千円

- ・ぎふ清流文化プラザにおいて開催される地歌舞伎公演で使用する舞台の大道具（升席等）を制作する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（補助事業主体：（公財）岐阜県教育文化財団）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,858	(公財) 岐阜県教育文化財団への補助金
合計	5,858	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「長期構想」における政策の目的

新たなふるさとの誇りを生み出すために、文化の薫り高いふるさとづくりに取り組みます。

(2) 国・他県の状況

・現在、同様の事業は実施していない。

(3) 後年度の財政負担

・令和4年度で終了予定。

(4) 事業主体及びその妥当性

○事業主体：（公財）岐阜県教育文化財団

○妥当性等：当財団は、ぎふ清流文化プラザの指定管理者として同施設のコンセプトに沿った事業を展開しており、事業主体として妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふ清流文化プラザ大道具等整備事業補助金
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由）当財団は、ぎふ清流文化プラザの指定管理者として、同施設のコンセプトに沿った事業を展開しており、事業主体として妥当。
補助事業の概要	（目的）長良川ホールを県内の伝統芸能の魅力発信の場とするにふさわしい環境整備。 （内容）ぎふ清流文化プラザ大道具整備事業
補助率・補助単価等	その他（整備費） （内容）県1/1 （理由）ぎふ清流文化プラザの運営に必要な事業を実施するものであり、全額県負担とする。
補助効果	文化施設を快適に観覧するための環境整備による県民サービスの向上
終期の設定	終期：令和4年度 （理由）単年度事業のため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>伝統芸能公演に必要な舞台の大道具の整備を行い、県内の伝統芸能発信の場としての魅力を高める。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①伝統芸能公演の満足度	88%	90%	93%	93%	93%	96%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和2年度は実施なし。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

	<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない
(評価) 3	県内の伝統芸能の保存・振興のため、ぎふ清流文化プラザの環境整備を行い、伝統芸能の魅力発信の場として活用していくことが必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)
(評価)	
	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	当財団は、ぎふ清流文化プラザの指定管理者であり、文化振興事業と施設管理を一体的に担うことにより効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内の地芝居等の伝統芸能に係る認知度の向上
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
